

## 熊本大学学術リポジトリ

### Kumamoto University Repository System

Title	愛欲（短歌）
Author(s)	長谷川，公一
Citation	龍南會雜誌， 1 6 9： 5 5 - 5 5
Issue date	1919-03-31
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/6463">http://hdl.handle.net/2298/6463</a>
Right	

いらたゞしわが眼の前の窓がらす割りくだきてぞ高笑ひせむ  
こぼちてむ後を思ひてかにかくにねせざりし身を冷笑ひする  
はゝのみの母に逆ひのゝしれど此のわびしさはやりどころなし  
いさかひの後の淋しさ涙して炭火まさぐり母にむかへる

## 愛 欲

長谷川 公 一

あさましき愛欲絶えず人の子の醜き性の盡くる日ありや  
凡衆をあざける心自らを彼等の群に見出す心  
このまゝに眼つぶらば偽の象の真に見ゆる日ありや  
何物か貴きものを失へる一日の如し汝思はねば

### □猫の性慾と人魚の呼吸

黒き猫ひそかに月の陰を行く零るゝ如く霜降るらしも  
かゝる夜は海の人魚の鱗など静に照らむ水めく月に

### □龍 南 生 活

紺青の海かと思ふ大空に南國の子は浴するかも  
よろしけれ微醺の顔を冬の夜の大路の月に光らす時(通町)  
眼閉づれば潮も聞ゆ玄海の岸の町にて母在ますらむ